電波タイムズ 2025年2月5日7770号より抜粋

2月7日（金）〈午前10
ハシフィコ横浜Dホール
いて、第29回自然災害対
技術展」が開催される。
防災食品展」。主催は「震
実行委員会。運営は「震
災事務局／エグジビショ
制振技術、災害対策工法
災」から防災力向上を加
ヘフリー」な防災製品が
自治体の防災対策を推
これる「地震・自然災害
なっている。
セミナー・シンポジウ
実施予定。発生から1年
能登半島地震・複合災害」
てから見えた発生から
の対策を聴講者と考え
ジウムを開催する。

ーションを強化

集約表示することで、状況
俯瞰を可能にし、検討の質
とスピードの向上に役立つ
「緊急対策ソリューション」
が会場で体感できる。
出展商品は次の通り。
▽電子作戦テーブル「E
LMO DXテーブル」（旧
称・V－CUBE Boa

Jアラート対応リモート鍵収納箱を展示

複数の防災施設を一元管理、どこでも取付け簡単

ビット・パーク

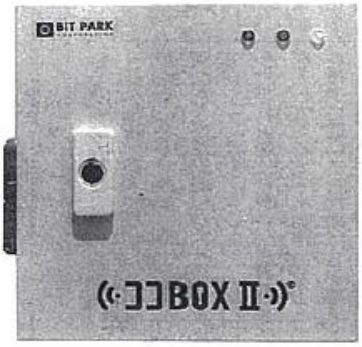
ビット・パークは、Jアラート対応のリモート鍵収納箱「ココBOXⅡ」を展示する。避難所や防災庫の鍵を保管するボックスを、緊急時にパソコンやスマートフォンからリモート解錠できる「ココBOX」の新タイプであるJアラート対応「ココBOXⅡ」をメインに紹介する。

リモート解錠型キーボックス「ココBOXⅡ」により、確実かつ迅速に、避難所を開設する手助けを行う。地震はもちろん、津波、水害、雪害など様々な災害に対応する。発災時の初動対応を効率化し、円滑な避難行動を促進する。実機を使ってのデモンストレーションを実施する。

「ココBOXⅡ」は、堅牢なボディと各種センサー連携など拡張性に優れた製品。複数の防災施設を一元管理する。地図と連動したわかりやすい画面で複数のココBOXを一元管理（待機、解錠、開扉状態確認）できる。一括解錠・個別解錠モードを搭載。解錠されたことを、事前登録した自治会関係者にもメール通知。地域連携を図る。間違って、解錠指示した場合、リモートで再度施錠することもできる。

どこでも取り付け簡単。専用回線契約不要なので取付可能域が拡大。必要なのはAC100Vのみ。工事も簡単。なお、体育館の軒先など、直射日光や風雨が直接当たらない場所に設置する。

地図連携の管理作業開始で避難所全体状況把握する。パソコン、スマホから遠隔操作が可能だ。地震感知でも自動解錠（オプション）。「ココBOX」電源・開扉状態を定期的に自動監視する。システム異常はスマホやメールに通知する。



Jアラート対応のリモート鍵収納箱「ココBOXⅡ」

SNSや気象情報など解析して防災・危機管理

豪雨による複合災害における報告会で代表登壇

e代表
上建設
村上建
子会社に
ンツの事
の後、米
にて日本
グに従事
米IT企
ズにてパ
ス・ディ
どを経験
2011
日本大震
ティアを
からの情
実感し、
アルタイ
析サービ
Speed
書に「A
冬舎）。
『Spo
o』は、
報、自動
タ、ライ
析し、世
や危機を
視化、予
機管理共
要な情報
通知、独
やマップ
て、正確
報を瞬時
できる。
「危機
をミッシ
気象デー
道路・河